

産業廃棄物処理計画書

令和2年5月25日

大阪府知事 殿

受付
令和 2 5.27
泉農緑第 号
大阪府

提出者

住 所 貝塚市 堤300番地

氏 名 ジェイ-ワイテックス 株式会社

代表取締役社長 石橋 靖

電話番号 072-436-680

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジェイ-ワイテックス 株式会社 第2事業所
事業場の所在地	貝塚市 堀1丁目12番2号
計画期間	令和 2年4月1日～令和 3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	売上高 4,445 百万円
③従業員数	104人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙の通り		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度(令和1年度)実績】別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) ・各産業廃棄物の毎月の処分量を把握し、異常がないか確認。 ・酸洗工程 ボンデ液成分の管理により過剰な補給を抑制。 ・ブルーイング伸線工程 潤滑液腐敗防止での使用量適正化(殺菌剤の選定)。により使用量減。	
②計画	【目標】別紙の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・無機性汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラ、木くず、ガラス・陶磁器くず、鉍物系廃油、石綿含有がれき類、乾電池、蛍光灯はそれぞれ分別、保管をしている	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) _____	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) _____	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度 (令和 1 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) ・排水処理脱水機のろ布交換を定期的を実施 (約4ヶ月)。		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) _____		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 1 年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃酸の中和処分と、一部の無機性汚泥、廃プラ、石綿含有がれき類、ガラス・陶磁器類の埋め立て処分を除き マテリアル又は、サーマルリサイクル業者での処分を実施。		

②計画	【目標】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者での処分は割高であるため、会社経営状況を鑑み 処分コストの安い優良処分業者での処理を検討していく。			
※事務処理欄			

前 年 度 【 令 和 1 年 度 】 実 績 概

住所	社名	出 社 者	電話番号	FAX	電子メールアドレス
東京都港区新橋3丁目12番2号 ジェイワイテクノス 株式会社 営業所	ジェイワイテクノス 株式会社 営業所	株式会社 出社者名	本社出張部署の電話番号	本社出張部署のFAX	本社出張部署の電子メール

コード	品名	計 画 状 況									②+④		②+⑤				
		①発生した数量	②自当分(削減)数量	③自当分(削減)数量	④自当分(削減)数量	⑤自当分(削減)数量	⑥自当分(削減)数量	⑦自当分(削減)数量	⑧自当分(削減)数量	⑨自当分(削減)数量	⑩自当分(削減)数量	⑪自当分(削減)数量		⑫自当分(削減)数量			
1 400	①廃液(防錆剤): 酸洗工程	87													87	0	0
2 220	②無機性汚泥: 排水処理工程	2,713		2,713	147	2,566									147	0	0
3 220	③無機性汚泥: 排水処理工程	23				0									23	0	0
4 220	④無機性汚泥(ホ ンク):脱油工程	2,170		2,170	79	2,091									79	0	0
5 220	⑤無機性汚泥(潤 滑剤):伸線工程	40				0									40	0	0
6 500	⑥焼アルカリ:伸 線工程	25				0									25	0	0
7 220	⑦無機性汚泥(機ア ルカリ):伸線工程	9				0									9	0	0
8 220	⑧無機性汚泥(機フ ラックス):めっき工程	6				0									6	0	0
9 800	⑨焼プラスチック	29				0				26					3	0	0
10 800	⑩木くず	11				0				11					0	0	0
11 300	⑪廃油	5				0				5					5	0	0
12 340	⑫油泥	14				0				14					14	0	0
13 2440	⑬石綿含有がれき 屑	0				0				0					0	0	0
14 1316	⑭ガラス陶磁器	1				0				1					1	0	0
15 220	⑮汚泥(潤滑剤)	9				0				9					9	0	0
16 211	⑯汚泥	7				0				7					7	0	0
17 220	⑰汚泥	0				0				0					0	0	0
18 221	⑱汚泥	3				0				3					3	0	0
19 220	⑲汚泥	12				0				12					12	0	0
20 3520	⑳乾電池	0				0				0					0	0	0
合計		5,165	0	4,883	0	226	4,657	0	0	508	190	26	140	152	200	0	0

(注)①の発生は原則として四捨五入、ただし、数字が算術処理のため小数点以下3桁まで記載は可。

